



三春中学校だより

第 56 号

発行日 平成 31 年 1 月 9 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【年末から新年へ！ ～具体的にこれまで振り返り、これからの明確な目標をもちました。～】

12月21日（金）の冬休み前日集会と1月8日（火）の冬休み明け集会には、各学年の代表生徒が、学年や個人の“これまで”を具体的に振り返り、“これから”を冷静に分析し、学年代表として明確に方向づけをしていました。代表生徒の発表では、以下のような趣旨が述べられていました。

- ・自分に厳しく、失敗をそれ以降に生かしていく。
- ・早寝・早起き・朝ご飯を念頭に規則正しい生活を送っていく。
- ・居眠りなどもってのほか。全員が意欲を前面に出して授業に臨んでいく。
- ・さまざまな係や役割分担を自覚し、責任をもって仕事を全うし、学校をよりよくしていく。
- ・学習に全力を注ぎ、ミスは決してそのままにせず、粘り強く解決をめざす。
- ・マスク等で健康管理を図り、運動を心がけ、生活リズムを崩さず、受験・進路に立ち向かう。
- ・三春中学校6年間で築いてきた歴史と伝統を1・2年生に引き継ぐ。

本当に立派な発表でした。各学年の生徒のみなさんも、代表生徒の発表をかみしめ、学年の大切な一人として、上記の内容を実践に結びつけていけるよう励ましてまいります。



【合唱団の一員として！ ～復興祈念 新春の第九 みんなで歌う第九の会 第6回特別演奏会～】

1月6日（日）、けんしん郡山文化センター大ホールにおいて、復興記念新春の第九みんなで歌う第九の会第6回特別演奏会が行われました。音楽を通して人と人がつながり、東日本大震災や原発事故からの1日も早い復興をめざそうと、震災2年後からスタートし今回で第6回目を数えます。

30分前に会場に到着しましたが、1～3階の観客席は満員の状態で、4階の観客席に席を見つけ、着席しました。演奏会には本校から2名の合唱部員が参加するとともに、パンフレットには本校卒業生の名前もありました。2名の本校の合唱部員はオーケストラや400名の大合唱団の一員として練習の成果を発揮してきました。

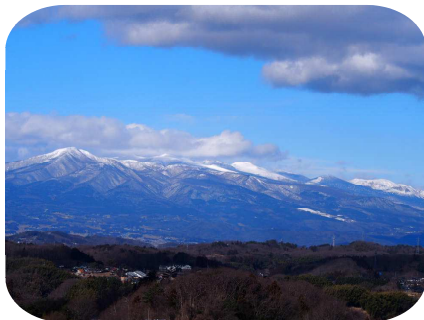
“音楽のゆたかな心にあふれる学校づくり”とは以前紙上でも申し上げましたが、三春中学校が音楽を通して外の世界とつながること、そのつながりを持ち帰って三春中学校の音楽文化がさらに充実・発展することは実に喜ばしいことです。演奏会では、時代を超えて作曲のベートーヴェンともつながることができた時間であったと思います。



【冬休みの部活動をやりきりました！ ～寒風をものともせず、床の冷たさも何のその。～】

冬休みの最終日1月7日（月）、明日からの学校生活にむけ、まずは、校舎外を点検、見回っていました。当日朝の寒暖計の目盛りはマイナス4℃を示していました。靴を履き替えて格技場をのぞくと、顧問の先生の指導の下、剣道部のみなさんが冷たい床の上、裸足で稽古に精を出していました。外に出て、校舎の裏手からクロカンコースをたどって裏山に登ると、遠くには白い雪をいただいた安達太良山が、澄みきって凜とした空気の中にゆったりと山裾を伸ばしていました。学校を見下ろすと、校庭では、陸上部、ソフト部、サッカー部のみなさんが、寒風をものともせず、顧問の先生とともに

練習に励んでいました。裏山を下りて、町営体育館下のテニスコートをのぞくと、テニスボールを入れてある買い物カゴが強風で吹き飛ばされる中、顧問の先生の球出しにテニス部のみなさんがボールに懸命に食らいついていました。午後には野球部も校庭に出て、顧問のノックをうけていました。寒くて、辛い練習ですが、子どもたちも顧問の先生も、中体連での勝利をめざし、ともに、ひたむきに、そして、こころ豊かに部活動に取り組んでいます。そして見事、冬休みの練習をやりきりました。やがて来る中体連での大活躍を願わないわけにはいかないくらい、どの生徒も、どの顧問も、一生懸命でした。よくがんばりました。努力は決して裏切りませんよ。



【1年間の感謝を込めて！ ～お世話になった部室をみんなできれいにしました。～】

昨年12月28日（金）、各部活動ごとに、1年間お世話になった施設・設備の清掃・整理を行いました。各ご家庭でも年末には大掃除を行います。学校で行う部室等の清掃も大切な学習です。三春中生の清掃への取り組み、ホームベースの整理整頓、清掃後のきちんとかけられた雑巾掛けの美しさには定評がありますが、みんなで使った場所や施設をみんなできれいにする意識と態度は社会人となっても自立した人間としてもとても大切なところがけです。

ご家庭で教えられたことを学校でも指導しています。ご家庭と学校が一緒になって、身辺自立や整理整頓、よりよい環境づくりに自ら取り組める人間づくりにも取り組んでまいりたいと存じます。安達太良山もそんな子どもたちを温かく見守ってくれているようにも思えました。



【桜の木も寒さに耐えてがんばっています！ ～下へ下へと～】

昨年末、中郷小学校からいただいた滝桜の子孫の桜の木が、雪にも、寒さにも負けず、来る春を待ちわびながら立っています。

生徒昇降口の部活動コーナーには、『何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。』とあります。オリンピックの金メダリスト高橋尚子選手が好んで使った、彼女の恩師からいただいた言葉だそうです。

地道な毎日の積み重ねこそ大輪の花を咲かせる原動力になります。『命の輝き』は見つかりましたか。

